

事業群評価調書(令和6年度実施)

基本戦略名	3-2 地域の特徴や資源を活かし、夢や希望の持てるまちを創る	事業群主管所属・課(室)長名	企画部 政策企画課	内田 正樹
施策名	4 しまや半島など地域活性化の推進	事業群関係課(室)	IR室、地域づくり推進課	
事業群名	④ 広域連携の推進による県北地域の活性化	令和5年度事業費(千円)	※下記「2. 令和5年度取組実績」の事業費(R5実績)の合計額	93,104

1. 計画等概要

(長崎県総合計画チェンジ&チャレンジ2025 本文)							(取組項目)			
県北地域の特性を活かし、歴史的・地理的につながりが深い本県と佐賀県との緊密な連携により、交流人口の拡大や地域振興などに取り組みます。また連携中枢都市圏(西九州させぼ広域都市圏)の運営や事業が円滑に行われるよう助言や支援を行い、人口減少社会において活力ある経済・生活圏を維持、形成します。							i)肥前窯業圏の活性化に向けた取組 ii)伊万里湾周辺自治体における地域資源を活用した地域活性化 iii)JR佐世保線の高速化による輸送改善			
事業群	指 標		基準年	R3	R4	R5	R6	R7	最終目標(年度)	(進捗状況の分析)
	連携した取組に基づいて事業化した数(継続)	目標値①		3件	3件	3件	3件	3件	3件 (R7)	
		実績値②	2件 (R元)	2件	3件	3件			進捗状況	
		達成率 ②／①		66%	100%	100%			順調	
肥前窯業圏の活性化に向けては、「肥前窯業圏」活性化推進協議会におけるSNS等を活用した陶磁器文化等の魅力発信や、JAFと連携したドライブスタンプラリーの実施等の各種事業などにより、交流人口の拡大に取り組んでいる。 また、西九州させぼ広域都市圏協議会に参加し、連携中枢都市圏等の地域間連携を推進するなど、伊万里湾周辺自治体を含む県境周辺地域における広域的連携を推進しながら、県北地域における地域資源を活用した地域活性化に取り組んでいる。 JR佐世保線の高速化による輸送改善については、令和4年度に高速化工事を実施したところであり、引き続き、利便性向上に向けて取り組んでいく。										

2. 令和5年度取組実績(令和6年度新規・補正事業は参考記載)

取組項目	中核事業	事業番号	事務事業名	事業費（単位:千円）			事業概要 令和5年度事業内容及び実施状況 （令和6年度新規・補正事業は事業内容）	指標(上段:活動指標、下段:成果指標)				令和5年度事業の成果等		
				R4実績	うち 一般財源	人件費 (参考)		主な指標	R4目標	R4実績	達成率			
				R5実績					R5目標	R5実績				
				R6計画					R6目標					
				事業実施の根拠法令等										
				事業期間	法令による 事業実施の 義務付け	県の裁量 の余地が ない事業			他の評価 対象事業 (公共、研究等)					
所管課(室)名				事業対象										
取組項目 i ii	○	1	振興局活動推進費 （県北プロジェクト）	3,000	1,500	3,827	●事業内容 長崎・佐賀県及び関係自治体、団体等で設置する肥前窯業圏 活性化推進協議会において、産地への誘客促進のためSNS等 を活用した情報発信、福岡県内で開催される陶器まつりでのPR ブースの出展、JAFと連携したドライブスタンプラリーの実施等 の各種事業を行う。 ●実施状況 肥前窯業圏の認知度向上を図るとともに、来訪者の周遊化と 消費喚起につなげることで県北地域の経済活性化を図った。	【活動指標】	2	1	50%	●事業の成果 産地を周遊することで景品を獲得できる着地型 旅行事業（ドライブスタンプラリー）を1件実施し、 他のPR事業と併せて実施したことで、入館者数 の目標は達成した。 ●事業群の目標達成への寄与 各種事業を実施することにより、目標達成に寄 与している。今後も各産地の魅力を発信すること で地域の活性化を図っていく。		
				3,000	1,500	3,830			2	1	50%			
				3,000	1,500	3,891			2					
				R3-	—			【成果指標】	138	183	132%			
						139			172	123%				
			地域づくり推進課					—	—	—	関係市町、各市町商工・観光関係団体、窯業関係団体など		圏域内主要文化施設の 入館者数(千人)	187

取組 項目 ii iii	○	2	特定複合観光施設導入 推進事業費	117,370	109,471	121,161	●事業内容 特定複合観光施設（IR）の開業を見据え、九州各県や経済界と連携し、IRがもたらす経済波及効果の最大化に向けた取組を進めるとともに、交通インフラ整備、国際的なMICEビジネスを後押しする誘致支援組織の発足、依存症対策等の必要な取組を推進する。 ●実施状況 九州IR推進協議会を核としたIRの経済効果を九州全体へ波及させることを目的としたセミナー等の開催やMICE誘致支援組織の発足準備、九州地方依存症対策ネットワーク協議会による依存症対策研修等を実施した。	【活動指標】 関係機関（佐世保市・九州の経済団体等）との会議等開催回数（回）	—	—	—	●事業の成果 ①九州IR推進協議会によるセミナー（R5.6.7、R5.9.5）を開催し、IR実現に向けた地元経済界等の機運醸成と、開業後の地元調達や広域周遊観光に向けた理解促進を進めた。 ②MICE誘致支援組織の立ち上げ時に必要となる人材の公募条件設定の参考とするためにプレサーチを行い、質の高い人材確保に向けた準備を進めた。（長崎県・佐世保市IR推進協議会において実施。） ③九州地方依存症対策ネットワーク協議会における情報共有や連携強化（R5.7.26第3回協議）、eラーニングによる依存症対策研修（R5.9.15～R6.2.15配信）を実施することにより、九州各県の連携と依存症に対応する人材育成につながった。 ●事業群の目標達成への寄与 上記の取組等により、IR実現に向けた各関係者の機運醸成や理解促進につながった。			
				90,104	84,120	127,140		【活動指標】	—	—	—				
								【活動指標】	1	—	—				
								国の審査委員会におけるプレゼンテーション	—	—	—				
			特定複合観光施設区域整備法			【成果指標】		1	0	0%					
						区域認定（件）		1	0	0%					
								【成果指標】	1	0	0%				
						(R5終了)H26-R5									
IR室	—	—	—	長崎県・佐世保市IR推進協議会等											

3. 実績の検証及び解決すべき課題と解決に向けた方向性

i	肥前窯業圏の活性化に向けた取組	●実績の検証及び解決すべき課題 肥前窯業圏の認知度向上については、SNSの活用や福岡県で開催される陶磁器まつりに協議会メンバーと協働してPRブースを出展することにより、認知度向上・来場者の消費喚起につなげ地域の活性化を図ってきた。 また、西九州させば広域都市圏協議会に参加し、連携中枢都市圏等の地域間連携を推進するなど、伊万里湾周辺自治体を含む県境周辺地域における広域的連携を推進しながら、県北地域における地域資源を活用した地域活性化に取り組んでいる。 JR佐世保線の高速化による輸送改善については、令和4年度に「有田～佐世保間」の高速化工事を実施したところであるが、その効果が最大限に生かされるよう、引き続き、利便性向上に向けて取り組んでいく必要がある。	●課題解決に向けた方向性 引き続き、関係自治体等と連携しながら、県北地域の活性化に努めていく。
ii	伊万里湾周辺自治体における地域資源を活用した地域活性化		
iii	JR佐世保線の高速化による輸送改善		

4. 令和6年度見直し内容及び令和7年度実施に向けた方向性

取組項目	中核事業	事業番号	事務事業名	令和6年度事業の実施にあたり見直した内容	令和7年度事業の実施に向けた方向性		
			事業期間		事業構築の視点	見直しの方向	見直し区分
			所管課(室)名				
取組項目 i ii	○	1	振興局活動推進費 (県北プロジェクト)	PR事業及び誘客促進事業の強化等を行ってきた結果、入館者数は5年間で約7万人増加し、令和4年度及び5年度は成果指標を達成することができたため、直近5年間で増加した入館者数を基に指標を上方修正した。	⑤⑥⑦	今後も「肥前窯業圏」活性化推進協議会の連携強化、PR事業の促進、産地の人材育成による誇りの醸成などにより肥前窯業圏域の活性化を推進していく。 また、これまでの各種取組を充実・強化することで、各産地の地域活性化を図っていく。	改善
			R3-				
			地域づくり推進課				

注:「2. 令和5年度取組実績」に記載している事業のうち、令和5年度終了事業、100%国庫事業などで県の裁量の余地がない事業、公共事業評価対象事業、研究事業評価対象事業、指定管理者制度導入施設評価対象事業については、記載対象外としています。

【事業構築の視点】

① 視点① 事業群としての成果目標に対し、特に効果が高い事業の見極め、事業の選択と集中ができているか。

② 視点② 指標の進捗状況に応じて、その要因分析及びさらに高い効果を出すための工夫、目標に近づけるための工夫を検討・実施できているか。

③ 視点③ 人員・予算を最大限効果的に活用するための事務・事業の廃止・見直しができているか。

④ 視点④ 政策間連携により事業効果が高められないか。事業群としてリーダーの明確化、関係課の役割分担・協力関係の整理ができているか。

⑤ 視点⑤ 県と市町の役割分担・協力関係の整理・認識共有ができているか。

⑥ 視点⑥ 県と民間の役割分担・協力関係の整理・認識共有ができているか。

⑦ 視点⑦ 戦略的に関係者の行動を引き出せているか。

⑧ 視点⑧ 国制度等の最大限の活用が図られているか。国へ政策提案(制度改革要望)する必要はないか。

⑨ 視点⑨ 経済情勢等、環境の変化に対応した効果的・適切な見直しとなっているか。

⑩ その他の視点